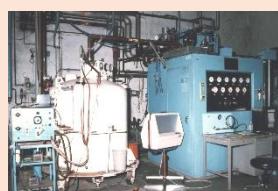
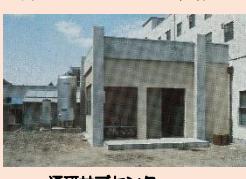


極低温科学センター 50年の歩み

低温センター / 極低温科学センター 年表

低温センターの設立からはじまる極低温科学センターの歴史を主要年表にまとめました。低温センターの年表は、1991年発行の低温センターの広報誌「東北大学低温センター」20周年記念号から抜粋しました。

西暦	和暦	月	センター長	低温センター
1971	S46	4	神田英蔵 教授	<p>低温センター、及び工学部サブセンター開設</p>   <p>日本酸素株式会社製 60L ヘリウム液化</p>  <p>東北大学低温センター</p> <p>工学部サブセンター</p>  <p>工学部 サブセンター 1971年完成</p>
1972	S47	4	竹内栄 教授	<p>5</p> <p>通研サブセンター開設</p>  <p>通研サブセンター</p>
1973	S48	1		<p>センターだより第一号発刊</p>
1974	S49	4	渡辺浩 教授	
1975	S50	4		<p>10T 超伝導マグネット共同利用開始</p> 
1976	S51	4		<p>福島県環境医学研究所へ液体ヘリウム供給開始</p>  <p>10T 超伝導マグネット</p> <p>6T 高均一超伝導マグネット</p>
		4		<p>金研サブセンター・ 金研木村研とセンター間の 回収管完成</p>
		6		<p>理学部サブセンター開設</p>  <p>理学部サブセンター</p>
1978	S53	1		<p>金研サブセンターの移転、改良工事開始</p>

西暦	和歴	月	センター長	低温センター
1978	S53	4		大型希釈冷凍機 共同利用開始 SHE 社希釈冷凍機
		7		液化量総計 20 万 L 達成
			低温センター	超低温実験施設
1979	S54	4		理学部付属超低温実験施設建設
			山形大学へ液体ヘリウム供給開始	 理学部超低温実験施設
1980	S55	8		1,000 回目の運転 液化量総計 30 万 L を突破
1981	S56	4		科学計測研究所サブセンター設置
		9		液化機(30L/h)運用開始
1982	S57	10		科研サブセンター片平丁へ移転  科研サブセンター
1984	S59	4	鈴木進 教授	
1986	S61	3		高温超伝導の発見
		4		極微少エネルギー実験施設改組
1987	S62	4	平林真 教授	
		11		液化量総計 100 万 L 達成  100万リットル達成記念パーティ
1989	H1	4	増本健 教授	
1993	H5			液化機更新 (TCF-50、150L/h)  リンデ社製 TCF50 型 150L 液化

西暦	和歴	月	センター長	低温科学部	極低温物理学部
1996	H8	5	鈴木謙爾 教授	極低温科学センター発足	
1997	H9			電気通信研究所、多元物質科学研究所へ回収配管敷設	
1998	H10	3		 片平キャンパスヘリウムガス回収管	 液化機更新 (TCF-50、80L/h)
1998	H10	4	藤森啓安 教授	配管網による回収開始	
1998	H10	4			理学部、薬学部へ供給開始
2000	H12	4	井上明久 教授		
				極低温科学センターだより発刊開始	
					工学部供給開始
2001	H13				青葉山回収配管本管完成
2001	H13	5		低温寒剤の取り扱いと危険防止（低温マニュアル）発刊	
	9			丹野・細倉技官海外研修（ライデン大学カマリンオネス研究所）	 カマリンオネス研究所ヘリウム液化施設
2001	H13	12		外部評価	
2002	H14				青葉山回収配管完成
2003	H15				青葉山共同溝－工・薬・学際つなぎ こみ工事 青葉山回収体制完成
					学際センターへ供給開始
2004	H16			ウェブページ開設	
2005	H17			回収率に基づく新ヘリウム料金制度開始	
2006	H18	4		研究教育基盤技術センター内組織へ移行	
				液体ヘリウムのオンライン注文開始	
	11		青木晴善 教授		
2007	H19	10		ヘリウム不足問題（米国輸出規制）	
2009	H21			外部資金によるヘリウム料金の支払い開始	
				原子分子材料科学高等研究機構（現 材料科学高等研究所）へ供給開始	

西暦 和歴 月	センター長	低温科学部	極低温物理学部
2010 H22 4		液化機更新 (L280-S、200L/h)  リンデ社製 L280-S 型 200L 液化機	
2011 H23 3		東日本大震災	
		液化システム一部破損	液化システム損壊
2012 H24 4	佐々木孝彦 教授		
		ヘリウム不足問題	
10			液化システム復旧 (L280、200L/h)  リンデ社製 L280 型 200L 液化機
2014 H26		東北メディカル・メガバンク機構へ供給開始  東北メディカル・メガバンク機構 800MHzNMR 装置	
2016 H28		極低温科学センター技術職員人事交流	
2018 H30 4		研究推進・支援機構内組織へ移行	
2022 R4		液化機更新 (L280、230L/h)	